

平成29年度

全国学力・学習状況調査の  
結果について



平成29年12月  
海老名市立柏ヶ谷中学校

## 目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「数学に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「生徒質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



## 資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

### 【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

### 【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

### 【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
  - ・ 中学校第3学年

## ◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

### 【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

### 【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成29年4月18日(火)

海老名市の結果は  
こちらから



# 国語に関する調査結果

## 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

### 《優れている所》

- 目的に応じて、資料を効果的に活用して話すことができます。
- 文章の要旨をとらえることができます。
- 文脈に即して、漢字を正しく書いたり読んだりできます。また、語句の意味を理解して、その語句を文脈の中で使うことができます。

### 《努力を要する所》

- 事実と考察との関係に注意して筋道を立てて話すこと、また、相手に分かりやすい言葉で話すことに、課題が見られます。
- 物語の場面展開や登場人物像をつかみ、内容を理解することが苦手です。
- 文章に書かれているものの見方や考え方について、自分の考えを持ったり広げたりすることに、課題が見られます。

## 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

### 《優れている所》

- 目的に応じて、資料を効果的に活用して話すことができます。
- 目的に応じて、必要な情報を読み取ることができます。

### 《努力を要する所》

- 相手の反応を見ながら、伝えたい事実や事柄を分かりやすく話すことに、課題が見られます。
- 物語の情景描写（背景）、または登場人物の気持ちや行動を捉えて、その内容を理解することが苦手です。
- 課題を適切にとらえて、その課題に対する自分の考えや理由を書くことが苦手です。また、必要な材料を整理して文章を書くことに、課題が見られます。

## これまでの取組から

- 今回の調査においては、提示された資料や情報を元に、目的に応じて話す力が身につけているという結果がうかがえました。また、文脈に即した漢字・語句の活用において、基礎的な力が身につけていることもうかがえました。
- 順序立てて論理的に話すこと、場面の展開を踏まえた内容理解、課題に対して自分の考えを持つことに、努力を要することがその結果からうかがえました。

## 今後の具体的な取組について

- 今回の調査結果を受けて、以下の指導実践が有効だと考えます。
- グループ活動などの言語活動をさらに活性化させる。また、活動の形態も討論形式（ディベートを含む）、バズセッション、インタビュー形式、ロールプレイング形式、など多岐にわたるように工夫する。
- 語句や言葉、文章が相互に関連した知識として習得させられるよう、「自発的な思考を促す」活動（テーマ学習）や学習課題（興味関心を喚起する学習プリントなど）の継続的な提供に努める。さらに、それらの学習活動を言葉の豊かさや語彙力の向上にもつなげていく。

# 数学に関する調査結果

## 数学 A

(主として「知識」に関する問題)

### 《優れている所》

- 「数と式」の領域における連立二元一次方程式をよく理解しており、「数学的な技能」に優れています。
- 「図形」の領域における「数量や図形などについての知識・理解」に優れています。特に、証明の根拠として用いられている三角形の合同条件をよく理解しています。

### 《努力を要する所》

- 「関数」の領域における「数量や図形などについての知識・理解」に努力を要します。関数の意味や反比例の理解不足による誤答が多くありました。
- 「資料の活用」の領域における「数学的な技能」に努力を要します。特に、度数分布表から、ある階級の相対度数を求めることに対する理解不足が見られました。

## 数学 B

(主として「活用」に関する問題)

### 《優れている所》

- 「数と式」の領域における「数学的な見方や考え方」に優れています。特に、与えられた説明の筋道を読み取り、事象を数学的に表現することに優れています。
- 「資料の活用」の領域における「数学的な見方や考え方」に優れています。特に、資料の傾向を的確に捉え、数学的な表現を用いて説明することができています。

### 《努力を要する所》

- 「図形」の領域における「数学的な見方や考え方」に努力を要します。特に、証明した事柄を用いて、新たな性質を見いだす力をつけることが必要です。
- 「関数」の領域における「数量や図形などについての知識・理解」に努力を要します。与えられた情報を適切に読み取る力をつけることが必要です。

### これまでの取組から

- 本校では2年次に習熟度別少人数指導を取り入れることにより、問題に向き合う学習意欲の向上や、基礎的・基本的な知識・技能の習得について効果が上がっていると思われます。

### 今後の具体的な取組について

- 反復して問題に取り組み、基礎学力を養っていきます。特に、「関数」については、与えられた表やグラフ、式から必要な情報を選択し、数学的に表現する力を養っていきます。



# 生徒質問紙の結果より

## 学習について

### 《よかった所》

- 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思っている生徒が68%、将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思っている生徒が38%と全国平均よりも高く、外国への関心を持つ生徒が多くいます。
- 友達の前で自分の考えや意見を発表するのが得意だと答えた生徒が54%と全国平均を4ポイントと上回りました。

### 《課題と思われる所》

- 国語や数学の学習が、社会に出たときに役に立つと思う生徒、勉強は大切だと思う生徒の割合が全国平均に比べ高くありませんでした。
- 学習時間は確保しています。予習・授業・復習の学習サイクルを今まで以上に習慣化する必要があります。

## 生活について

### 《よかった所》

- 「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか」という質問にあると答えた生徒は、県・全国平均を上回りました。
- 保護者の方が学校行事へよく来ると答えた生徒が64%と全国・県平均より10ポイント以上高い数値でした。

### 《課題と思われる所》

- 「家の人と将来のことについて話すことがある」「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒が、全国平均より約10ポイント低く、将来のことを考える機会がやや少ないようです。
- 平日、スマートフォンでの通話やメール、インターネットを4時間以上する生徒が16.5%と高い数値でした。
- テレビ・ビデオの鑑賞、コンピューターゲームをする時間も全国や県より長くなっています。

## これまでの取組から

- 総合的な学習の時間、学級活動での話し合いなどの取り組みを通して、自信を持って自分の考えや意見を発表できる生徒が多くなりました。
- 朝読書の時間を設けており、73%の生徒が読書が好きと答えています。また、読書をする時間も長い傾向にあります。

## 今後の具体的な取組について

- 授業の目標を明確にし、最後にまとめや確認ができるような授業を展開する工夫をします。
- 定期テスト前の学習計画表や長期の休みの計画表の作成を今後も続け、生徒が計画的に生活する習慣が身につく取り組みをします。
- スマートフォンの利用時間など、生活習慣全般について保護者会や学級懇談会で取り上げ、家庭と協力して、望ましいあり方について情報交換をします。

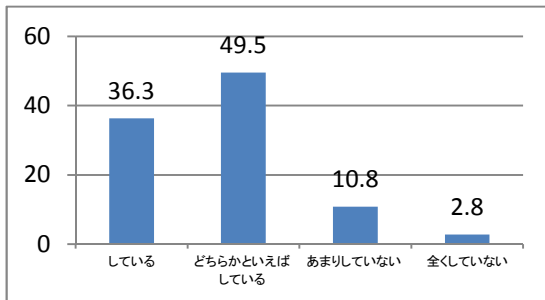
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

## 1 同じ時間に起床・就寝する生活習慣を身につけましょう。

起床・就寝の時間が不規則な生徒がやや多めでした。規則的な生活習慣のサポートをお願いします。

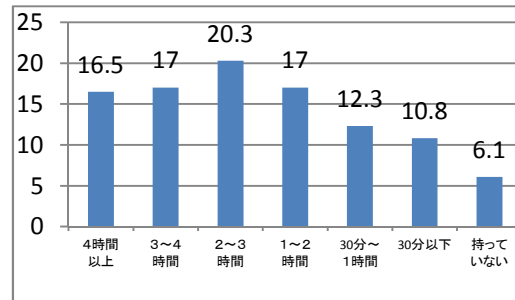
### 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



## 2 スマートフォンなどの使用ルールをしっかりと決めましょう。

半数以上の生徒が2時間以上通話・メール・インターネットをしていると回答しました。

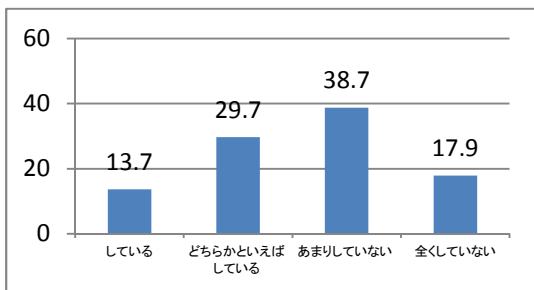
### 平日どれくらいの時間メール・インターネットをしますか。



## 3 計画を立てて、継続して学習しましょう。

計画を立て、確認しながら学習することは、生活習慣の改善にも役立ちます。

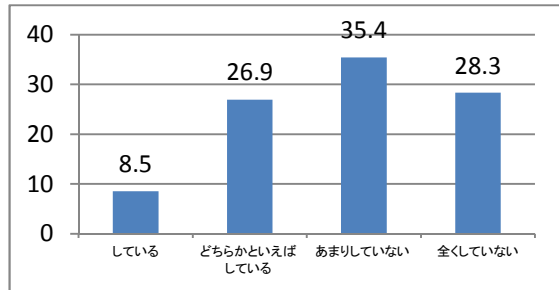
### 計画を立てて勉強をしていますか



## 4 工夫してバランスよく、予習・復習をしましょう。

約45%の生徒が毎日2時間以上、家庭学習などを行っています。授業の予習・復習の時間や方法も工夫しましょう。

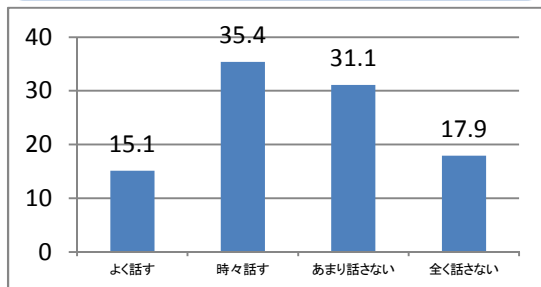
### 家で学校の授業の復習をしていますか



## 5 将来の夢や目標を家庭で話題にしてみてください。

学校の出来事については約7割の生徒が話をしています。将来のことも話題にしてみてください。

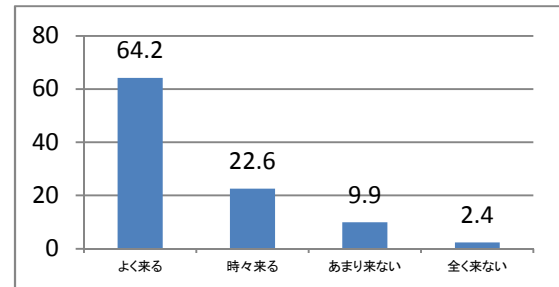
### 家の人と将来のことについて話すことがありますか



## 6 今後も学校行事などへのご協力をお願いします。

高い参加率です。生徒の励みになっています。

### 家の方は、学校の行事に来ますか





2017年10月26日 合唱祭 3年学年合唱